

## 《新企画：顧問税理士のコラム その4》 2016年（丙申）の動向 ～海外編～ 丙申年の諸外国の運氣と動向

菊川税務会計事務所  
全部協顧問税理士 菊川 慶規

新しい企画として、旧プライムニュース2月号から顧問税理士のコラムを設けています。9月号の「2016年（丙申）の動向 ～国内編～」に続き、陰陽五行論で今年のビジネスを取り巻く環境について論じて頂きます。全6回のシリーズとなります。（注：原稿は1月20日に受け付けています。）



菊川顧問税理士

今年の干支は、『丙申』です。年の干支では陽の干支の年が海外の問題、陰の干支の年が国内の問題が政局を動かすようになります。丙は火性の陽にあたるので、国内は比較的安定してはいますが、海外では不安定な動きになるでしょう。

まずアメリカです。昨年の予測で、2015年の乙未年はオバマ大統領の運氣は大低迷と記述しましたが、その通りとなりました。ウクライナやシリアではロシアにやられ、また南沙諸島では中国が埋め立てを強行、着々と自国の領海を拡げています。これはオバマ大統領の弱気に起因しています。オバマ大統領の任期は2017年1月までで、後1年です。この年のオバマ大統領の運氣は低迷し、ほとんど力量を発揮できません。米国経済は世界の中では

安定していますが、この年は大統領の運氣も悪いので連動して徐々に下降していきます。

次にドイツ、フランスです。ドイツのメルケル首相は申酉天中殺です。つまり2016年は天中殺になります。これまで欧州の中でも力強い動きのあったドイツでしたが、フォルクスワーゲンの不正問題などが出来、ドイツの国家としての運氣は一気に低迷に向かいます。またイスラム圏からの難民の扱いも、国家経済にダメージを与えます。ちなみに日本の安倍総理も2016年と2017年が天中殺ですが、守護神に与えられている天中殺なので、災いがほとんどありません。一方、フランスではオランダ大統領の運氣が、後半から低迷に向かいますので、経済成長も低迷を余儀なくされるでしょう。

次にロシアです。ロシアのプーチン大統領は2014年と2015年が天中殺期間でした。この間ウクライナのクリミアを占拠、シリアに空爆を開始し、国内の支持率は上がりますが、経済はかなり厳しくなりました。またイスラム国の反発を受けて、治安がかなり悪くなりました。経済は引き続き悪化の一途を辿ります。天中殺期間中の悪因縁は、天中殺明けでも引きずってしまいます。その中で日本との北方領土問題についてですが、様々な条件を出しながら、話し合いが徐々に進展すると見込まれます。

次に中国です。習近平主席は申酉天中殺です。この年の運氣は大低迷です。健康運が低下、また未来が開ざされる運氣です。それだけに焦りも大きいでしょう。賄賂は中国の文化ですが、その賄賂を大ナタを振って撲滅に走った結果、国内の中堅以上の主導者の間で、不満というより不安が広がっています。今年も暗殺未遂が起こる危険性が大きいでしょう。一見順調にみえた中国経済ですが、もはやバブルが崩壊し始めています。中国人の富裕者層における爆買いも下火になってきます。『矛盾は不幸の入り口だ』と陰陽五行論では云いますが、共産主義を維持しながら資本主義経済を押し進めるのは、まさに矛盾そのもの。この国の経済は必ず酷くなります。

次に韓国と北朝鮮です。韓国の朴大統領も申酉天中殺なので、今年から天中殺となります。海外との関係で非常に厳しい局面にさらされます。外交安保も手詰まり、経済は一段と悪化するでしょう。日本に対しては裏から援助要請がくるはずですが、ここ数年は中国と友好関係を築いてきましたが、今年の中国経済は最悪です。韓国経済も影響を受けて最悪になり、結果日本に様々な協力と援助を求めてくるようになります。北朝鮮の金正恩の動きは矛盾だらけです。もともと共産圏の国で世襲が続くことが最大の矛盾。そして実力ある側近を端から粛正していくのも矛盾です。その動きをみると本人の精神状態、健康状態が悪化していると判断できます。この政権は長くて 3 年以内に大きな変化が起きると思われます。

つづく